

2020年11月5日

各 位

会社名 株式会社ドラフト
 代表者名 代表取締役社長 山下 泰樹
 (コード番号 5070 東証マザーズ)
 問合せ先 取締役 荒浪 昌彦
 (TEL 03-5412-1001)

業績予想の修正（上方修正）に関するお知らせ

最近の業績動向等を踏まえ、2020年5月11日に公表いたしました2020年12月期第2四半期累計期間（2020年4月1日～2020年9月30日）及び2020年12月期通期（2020年4月1日～2020年12月31日）の連結業績予想について、下記のとおり修正いたしますので、お知らせいたします。

記

1. 連結業績予想の修正について

(1) 2020年12月期第2四半期累計期間（2020年4月1日～2020年9月30日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想(A)	百万円 2,400	百万円 △60	百万円 △60	百万円 △62	円 銭 △13.87
今回修正予想(B)	2,700	200	180	120	26.79
増減額(B-A)	300	260	240	182	—
増減率(%)	12.5	—	—	—	—

(注) 当社は、2020年3月期第2四半期については四半期連結財務諸表を作成していないため、前期実績は記載しておりません。

(2) 2020年12月期通期(2020年4月1日~2020年12月31日)9ヶ月決算

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 4,100	百万円 90	百万円 80	百万円 60	円 銭 13.42
今回修正予想(B)	4,300	320	300	190	41.77
増減額(B-A)	200	230	220	130	—
増減率(%)	4.9	255.6	275.0	216.7	—

(注) 当社は、2020年6月25日開催の定時株主総会にて「定款一部変更の件」が承認され、2020年度より決算日を3月31日から12月31日に変更いたしました。経過期間となる2020年12月期は、2020年4月1日から2020年12月31日までの9ヶ月決算となっているため、通期の前期実績は記載しておりません。

2. 修正の理由

本年5月11日に発表した当初の業績予想については、新型コロナウイルス感染症の影響を考慮したものとしておりましたが、このような状況下においても、当社の空間デザイン力に対するニーズは引き続き高く、当初予想を大きく上回る業績見通しとなりました。

第2四半期累計の売上高は、緊急事態宣言の解除後に順調に積み上がり、当初予想を約3億円上回る見通しです。また、新型コロナウイルス感染症拡大が収束しない場合に備え、期初より費用の抑制、外注費のコントロールに努めた結果、営業利益以下は大幅な増加となる見通しとなりました。

通期の売上高については、季節変動の影響(注1)を考慮したものとしておりますが、第3四半期に計上予定の都市開発等の大型設計案件が利益率を高く維持する見込みであり、当初予想を大きく上回る利益を確保できる見通しとなりました。

新型コロナウイルス感染症の拡大で、リモートワークがあたりまえのものとなり、オフィス縮小の動きも一部にみられます。一方で、ウィズコロナに対応する新しいオフィスデザインの需要も増加しております。創業以来、当社グループが提案してまいりました「働く環境の多様化」や「集まる価値のある空間づくり」は、ニューノーマルの働き方や暮らしとの親和性が非常に高く、新しいオフィスの形を求める動きは当社グループにとって追い風となっております。さらに、5月に快適な生活とワークスタイルの両立を目指した新しい住居の形を提案するなど社会課題の解決に取り組んでおります。社会課題の解決=当社のミッション=当社事業の成長と考え、これからも事業を展開してまいります。

(注) 1. 当社グループの売上高は、4月~6月、10月~12月に大きく落ち込み、9月・3月に大きく伸びる傾向にあります。これは、日本の社会サイクル(9月・3月が年度の大きな区切りとなる)が影響しているものと考えております。

2. 上記の業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

以 上